

とびっく 観光地
小田原でスタート
シェアサイクル
レッツバイク

NPO BEEN
特定非営利活動法人 自転車環境創造ネットワーク

〒108-0072
東京都港区白金2丁目地先
白金高輪バイクイン内
事務局 TEL : 03-5793-4340
FAX : 03-5793-4347

秋季号

2016. 9. 30

「自転車のルール・マナー」を学ぼう

夏休みに入って2週目の7月30日土曜日、朝7時30分、集合場所の公園に自転車に乗った親子が、集まり始めました。今日は「くにたち・まちづくり∞自転車俱楽部」が主催する親子自転車教室の取材にうかがいました。公道で走って実地で学んでこそ自転車のルールとマナーは身につくという考えからスタートした「りんりんツアーア」。集まった親子は4組、8人。3グループに分かれて挨拶の後、まず始めたのが自転車の点検です。ブレーキの利き、タイヤの空気のチェック、そして自転車の正しい乗り方、サドルの高さがなども念入りに調整します。スタート前の注意は「自転車は車両。だから車道の左側を走るのが原則です。歩道は例外です。赤信号では必ず停止する」といたってシンプルな内容でした。

さまざまな走行体験ができる コースの選定

いよいよ出発です。子どもたちを守るように前後をボランティアスタッフが固めます。初めてのルール、マナー教室に、子どもたちはちょっと緊張気味、伴走する保護者も普段走り慣れているはずの道路なのに今日は特別な気分のようです。こうした活動は、今年で6回目。その間にコース選択では、安全を最優先しながら出会い頭の事故が多い裏道の交差点、車道、歩車共有の歩道などさまざまな走行体験ができるよう配慮した、と俱楽部代表の高田さんは語っています。交差点でスタッフは、なぜルールとマナーを守らないといけないのか、実際にルールを守らないと起きる事故なども再現してみせます。

公道だからこそ、生きたマナー、 ルールを学ぶことができる

なかでも、生活道の交差点の手前に設置された「止まれ」の標識については、自転車も止まらなければならないという注意を受け、お父さんお母さんも、「自転車も止まる必要があることを初めて知った」と意外そうな受け止めをして

公道で親子自転車教室

国立市の市民グループの取り組み



自転車は車両、車道の左側
通行を守って走る

りんりんツアーフラフ特製ステッカー

いたのが印象的でした。念入りに選ばれたコースは学びながら走って所要時間は約30分で終了。スタートの公園に戻っておやつタイム。そして参加者全員に、りんりんツアーフラフの特製ステッカーをプレゼント。

公道で学ぶ事の重要性

参加者からは「知らないことが多かったのには驚いた」「ルールとマナーの大切さをあらためて知った」「これからは子どもに正しい走り方について自信を持って指導できる」など、意見を聴くことができました。子どもの起こした自転車事故で1億円近い賠償を求められるケースも増えるなか、公道でのルールとマナーを学ぶことの重要性と自転車で走る楽しさを感じさせてくれる自転車教室でした。

さあ! Let's

小田原市のLet's Bike試乗体験

東京では今年2月から、千代田、港、中央、江東の4区が連合して自転車シェアリングを開始した。10月からは、新宿区も参入することになっていて、今後さらに参加する区が増えれば、2020年の東京五輪・パラリンピックに向けて自転車シェアリングが本格普及することになる。

自転車シェアリング需要は、主にビジネス、観光の足として利用が中心だが、東京では今のところビジネス利用が多いと言われている。

観光客の足としてシェアサイクル活用に乗り出しがたが、NHK大河ドラマ「真田丸」ブームにわく神奈川県小田原市。その名も小田原Let's Bike、メインポートは駅から徒歩1~2分ほどだが、ちょっと分かりにくく迷いながら見つけることになった。ポートには電動アシスト自転車が40台ほどずらつ並んでおり、案内に従って登録すれば誰でも利用できる。

観光客も利用をまつてい るLet's Bike

早速、借りて（一日利用1000円）、目指すは小田原城。電動アシスト自転車は、こぐ力が小さくて済むのでとにかく軽快だ。上り坂もサドルに腰掛けたままで楽々とのぼりきれる。一度体験するとその走りの心地よさに病みつきになるほどほれぼれする。

化粧直しが終わったばかりの小田原城には、専用駐輪ポートがないので、観光客の邪魔にならないところにとめて城内を散策。すると、城内にシルバーグループが運営する昔からのレンタサイクルがある。こちらは一日利用が300円。Let's Bikeと競合する形だが、いまのところ共存する方針だ。小田原市内は、道路が比較的平坦で、城以外にも見所、グルメも多く、小田原海岸へも一漕ぎで



小田原駅の駐輪ポート



シルバーグループが運営するレンタル自転車

いけるので、海風にあたるのも気持ちがいい。

潮風が気持ちいい

運営会社では、これからポートを湯本方面にも広げ、小田原から自由に往き来できるようなシステムをも検討中だ。列車でぶらり出かけて、快適な電動アシスト自転車で小田原市内を走るのは、これから新しい楽しみになりそうだ。

Bike

小田原の海辺でちょっと一休み

どこまで広がるか、 自転車保険の義務化

自転車事故発生件数全国ワーストワンの大阪府が、7月1日から条例により自転車に乗る人全員に対して自転車保険に加入することを義務づけると発表した。自転車事故による高額な補償を命じる判決が相次いでいることが背景にあるが、すでに隣の兵庫県では平成15年5月から義務化をスタートしている。東京都でも、検討が始まっているものの、自転車保険への加入は義務化ではなく、努力目標にするなど自治体によって温度差もある。自転車事故はいまや社会問題化しており、追隨する自治体がどこまで増えるかは、保険金を負担する自転車利用者の理解の深まりが、鍵を握っているといえそうだ。



高齢者の自転車 事故急増中

健康のために高齢者の自転車利用は年々増加していたが、利用者の急増は、当然ながら事故増加につながる。昨年都内で発生した自転車死亡事故38件の内18件(47.4%)が高齢者だった。そして死亡事故はすべて交差点で発生している。警視庁は、信号を守り、青信号でも左右を確認して横断すること、信号のない交差点や「止まれ」の標識のところでは一旦停止することなど基本ルールを守るよう警告している。また、転倒時に頭部損傷が致命傷になる恐れがあるので、面倒でもヘルメットを着用することをすすめている。

和田自治協力会(和田町商店会) 杉並区和田町

平成28年8月20日(土) 18:00開催予定だったが、19日に発生した台風9号、10号、20日に発生した11号の影響で雨となり中止となった。

用賀サマーフェスティバル

世田谷区の用賀駅前の世田谷ビジネススクエアくすのき広場で8月27日(土)・28日(日)に開催された、用賀サマーフェスティバル、新聞廣告とガイドブックへの広告で協賛。8月27日(土)当日は自転車マナー啓蒙のため「自転車マナー」クイズを実施しクイズ参加者に対して「じゃんけん大会」を実施し勝ち残った人にキックスケーターをプレゼントした。じゃんけん大会は2回実施し総勢70名の参加があった。勝者は女の子のお母さんとハッピィを着た9歳の男の子だった(写真)。



和田自治協力会(和田町商店会) 盆踊り 杉並区和田町

平成28年9月18日(日) 杉並清掃事務所高円寺車庫より出発 雨模様の中4名で日本酒2本を奉納。開始時間前に自転車の誘導に協力し啓蒙チラシ入りティッシュペーパーを配布した。配布しきれなかったチラシ入りは受付で参加者の配布をしてもらうようお願いした。

和田自治協力会(和田町商店会) 杉並区和田町

敬神会 平成28年9月17日(土)・18日(日) 9月17日にバイパーク管理人の鈴木さんよりご供物(お神酒)を差し入れてもらった。18日(日)13:30からの子供神輿の際に、バイパーク管理人の鈴木さん・安藤さんの協力を得て啓蒙チラシ入りティッシュペーパーを配布した。

NPOの啓蒙活動

放置自転車防止啓蒙活動

今後の予定

- ▶平成28年10月 ニコニコ商店街
- ▶平成28年10月 杉並区クリーンキャンペーン
- ▶平成28年11月 東高円寺駅周辺-①
- ▶平成28年12月 東高円寺駅周辺-②
- ▶平成29年 3月 蚕糸の森 まつり

自転車でアメリカ西部を走る

2

出水 豊

最後にはほとんど立ち漕ぎの状態でやっとシエラネバ山脈を自転車で登りきった。ここは鞍部のカーソン峠で「ELEV8574FT」の看板が立っている。日本で言えば標高2600㍍だ。素人が初めて乗ったクロスバイクという旅行用自転車で、よくここまで登れたものだと自分でも感心した。

登ってきた坂道を振り返った。緑の木々が茂るカリフォルニアの深い森林と、遙か下にはオレンジなどの果樹園。その先には太平洋があるのだろう。

振り返ってこれから向かう東の方角を見た時、私は「あっ」と小さく声を上げた。緑がほとんど無い、地肌を露わにした荒地続きた。よくは見えないが、その先は一面に広がる砂漠であることが見てとれ

た。「あれがネバダ砂漠か。そんな所を自転車で走るのか」つぶやきながら私は未練たらしく西の方へ目をやつた。

1998年に長野県で開催された冬季オリンピック組織委員会の一員だった私は、閉会とともに当時の市長に次回開催地の米国ソルトレーク市にメッセージを届けてほしいと頼まれ盛大な出発式を開いてくれた（写真）。「オリンピックは平和と環境を守り、こどもたちのために美しく豊かな地球を21世紀に引き継ごう」とお願いする内容だった。

「環境親書」と呼ばれたこのメッセージは大気を汚染する石油や石炭などを一切使わないで届けてほしいとの難しい注文がついていた。迷っ



た挙句にたどり着いたのが自転車だった。

国内はヤマハの電動アシスト自転車で走った。周囲が危惧した太平洋は帆船海王丸の乗組員の一人として親書を抱えて乗り込んだ。もちろん高さ42㍍のマスト登りも、大きな舵輪にしがみついての操船も立派にやり通してサンフランシスコに到着した。そして今度が『グローバル・トライアスロン』の最後のステージであるアメリカ大陸なのだ。

（つづく）

事務局便り

駐輪場の運営・管理の中で、駐輪機器設備のメンテナンスが重要課題であり、気の抜けないサービスの一つと考えております。

お客様へのサービスを第一に作業する中で、白金高輪バイクイン（地下にあり総台数101台、定期契約35台、一時貸66台の営業）における精算機器等が故障した場合、配置台帳、テーブルを精算機の横に配置して、用紙と時計を置き対面方式で一人ひとりのお客様の顔を見ながら、言葉を交わし入庫時間の記入をしてバイクを預かっております。地下室なので今日は晴れているのか、雨なのかを気にしながら直接お客様と会話ができるとも手集金のお陰だとおもいます。

お客様が帰るときには、お金を頂きお釣りを渡す、手書きの領収書を渡す。会話をしながらの作業はお客様との距離感も近くなり満足でいっぱいになるのは私だけではないでしょう。昔、誰もが感じたお金渡す、お釣りをもらうその時の「有難うございました」と、声をかける。これは、楽しみのひと時ですが、故障のお陰でこのような気持ちになれる。これも生きたメンテナンスかと痛感しております。

復旧するとお客様は、自動精算機と対面しバイクの排気音を残して出て行く。そんな日も近いのですが「手集金メンテナンス」も、またある意味楽しいと思っております。（平尾）

〈新役員紹介〉

理事 大久保 武

平成19年9月～25年6月、当法人会員。この度、渡辺副理事長からのお誘いがあり再度、会員となり第14期通常総会で理事の大任をお引き受けいたしました。定款第2章第2条の目的達成には課題はたくさんあります。森山理事長の目指すもの、やろうとしていることに寄与できるよう努力して参ります。

〈プロフィル〉 神奈川大学卒、横浜市役所、財団法人・横浜市シルバー人材センター、財団法人・横浜市芸術文化振興財団。

現在、横濱プロバス倶楽部会員。趣味は「鎌倉彌」